

功 績 概 要

学 校 教 育 功 勞

○奥田 清子（おくだ きよこ）（三重県立相可高等学校教諭）

昭和53年4月から永年にわたり、県立高等学校教諭として本県の家庭科教育の充実に大きく貢献した。

平成15年度に県立相可高等学校が、全国で初めて家庭学科として文部科学省「目指せスペシャリスト事業」の研究指定を受け、研究主任として「食」のスペシャリストに求められる「技術力・経営力・商品開発力・コミュニケーション力」を育成するため、様々な教育活動を体系的に整備し、現在の食物調理科の礎を築いた。

平成13年4月から定年退職まで同校で勤務するにあたり、校外研修施設「まごの店」の設立・運営に携わるなか、同施設における経理、接客等の指導を通じ、生徒の自主性や職業観を養うなど、生徒が主体となって運営するレストラン形式の実習施設の確立に尽力した。

「まごの店」の取組がテレビドラマ化され、全国から来訪者が増えるなか、多気町が「高校生レストランの町」として一躍有名になる等、地域の活性化にも貢献した。

平成27年度の「伊勢志摩サミット開催レセプション」に同校食物調理科生徒が参加した際には、国際的な大舞台において日頃の成果を発揮できるよう、生徒の心身の支えとなり、次年度の伊勢志摩サミット配偶者プログラムの成功へと導いた。

社 会 教 育 功 勞

○岡島 久美子（おかじま くみこ）（元三重県社会教育委員）

昭和54年から永年にわたり、地域における青少年教育、成人教育の推進に尽力し、本県の社会教育の推進に大いに貢献した。

平成18年度からは、伊勢市生涯学習センターの指定管理者として社会教育活動に取り組むにあたり、市内・近隣の様々な団体とのネットワークづくりに尽力し、市民のニーズに即した生涯学習の場を構築した。

平成22年から平成30年までの8年にわたり、三重県社会教育委員として本県における社会教育の推進に尽力し、平成25年度には「みえの学力向上県民運動」における社会教育のあり方をテーマにした会議において、大学生ボランティアと子ども達との関わりの重要性を提言し、高等教育機関の専門的な知識や技能を生かす教育プログラムを実現した。本プログラムにより、県内の高等教育機関の学生団体等が自らの学びや経験を活かし、小・中・高校生を対象に教育活動の支援を広げる契機となった。

平成29年度からは三重県社会教育委員連絡協議会の内部組織である地域学校等協働活動推進委員会委員長として本県の社会教育委員活動の活性化に積極的に取り組んでいる。

学 校 保 健 功 労

○浦和 健人（うらわ たけと）（学校医）

昭和59年4月から現在まで津市立豊が丘小学校の学校医として、34年の永きにわたり、児童の健康診断・健康相談に従事し、学校保健活動の充実に尽力している。

同校においては、学校医として大いなる情熱を持って、児童の健康診断、予防接種に従事するとともに、学校保健委員会等を通じ、児童の健康の維持増進につながる生活態度の改善について、指導・助言を行っている。

公益社団法人三重県医師会においては、平成15年から学校保健担当理事、平成22年からは学校保健主担当理事として、学校医委員会専門部会において、学校での食物アレルギー対応、学校メンタルヘルス推進事業、生活習慣病対策事業の実施等の検討を進め、本県の学校保健事業の充実に尽力した。

公益社団法人津地区医師会においても、平成8年より役員に就任し、会長職を務める現在も津市の在宅医療や介護への対応等、地域医療活動に献身的に従事している。

子どもから高齢者まで幅広く、学校保健活動、地域医療活動に献身的に従事し、保護者及び学校関係者はもとより、地域住民からの信望が非常に厚い。